



# ふれあいKAWACHIネット

## 清原東小学校版「学校と地域の連携推進モデル事業」の成果

清原東小学校では、子どもたちが豊かな心を育み、社会において自立的に生きるために必要な力を身に付けるため、学校と地域が連携・協働しながら日々取組を進めています。コロナ禍によって中断されていた連携をつなぎ直すとともに、学校や地域に根付いた伝統や地域資源を活かしながら、現在ある教育活動を充実させています。また、たくさんの地域の方と交流し、体験活動を充実することで、子どもたちは生き生きと学校生活を送っています。

子どもたちの豊かな人間性や主体的に考える態度を育むとともに、子どもの学びを支える地域の教育力向上を図る本モデル事業に積極的に御参加いただき、ありがとうございました。

### 地域資源・人材を活かした交流活動・体験活動の実施



ふれあい発見ラリー



夢実現教室

清原東小学区は自然に恵まれ、また隣接する工業団地の企業との連携を活かし、年間を通して多くのボランティアと積極的に体験・交流活動をしています。特に、複数の企業や地域の方を講師に招いて実施する「ふれあい発見ラリー」や「夢実現教室」は特色ある教育活動です。本校のキャリア教育は、平成24年度文部科学大臣表彰を受賞しております。

このように、現在行われている教育活動の価値をしっかりと見つめ継続していくことは、子どもたちの深い学びにつながると思います。

ふれあい発見ラリー……地域の自然・人・産業・文化等に触れ、児童が地域についての理解を深めるとともに、自らの将来に目を向けることができる活動（平成10年から実施。今年度は13企業等が参加）

### 学校と地域のつながり再構築の意識醸成



コロナ禍でできること（熟議）

コロナ禍により学校と地域の連携活動が制限されてしまいましたが、これからの方向性を考える上で、with コロナの視点で学校と地域の思いを共有することから再スタートしました。地域協議会では、「子どもたちのためにできることは何か」について熟議することで、学校や地域が一体となって子どもたちを育もうという意識が高まりました。

このことにより、「授業で和太鼓を使用したい」という音楽担当の思いを地域協議会で伝えると、早速、氷室町及び光が丘自治会から和太鼓が届きました。

そのほか、児童の登校の様子や挨拶など、地域からの情報提供も増えてきました。



和太鼓教室

### 子どもたちのために、できることから始めよう！

ホームページ等に随時アップされた学校行事や地域との体験活動などの様子を観ますと、充実した地域との連携・協働活動が行われたことがうかがえます。

コロナ禍でできなかったボランティア活動は、登下校の安全活動や、夏休み作品整理、研究授業見守り活動など、常時実施することができました。これらの活動を継続して行うには、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の存在が不可欠です。本校では、大金恵子さん、滝 茂弘さんが、ボランティア募集のチラシ作成や地域の方との調整役等を担ってくださっています。

また、PTA執行部が中心となり、自分たちにできることは何かを考え、130周年記念イベントや、トイレ掃除等を率先して実施しています。

ボランティア活動に参加することは、子どものためになるとともに、子どもたちとの交流機会が増えます。やりがいのあるボランティア活動に皆さんもぜひ参加してみませんか。



130周年記念バルーンリリース  
ふるさとや人と人のつながりを大切にしている清原東小学校